

令和3年度 第3回 大阪市立工芸高等学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立工芸高等学校

校 園 長 名 橋本 嘉平

日 時	令和4年3月14日(月) 15時00分~16時00分(1時間)	
場 所	大阪市立工芸高等学校 会議室	
出席者	委員 など	中西 州 (会長)、足立 亜希子 (委員)、團野 照 (委員)
	校 園	校長、教頭、首席、教務部長、生活指導部長、健康教育部長、進路指導部長、総務広報部長、図書部長、人権教育担当、支援委員会委員長、ビジュアルデザイン科長、プロダクトデザイン科長、インテリアデザイン科長、建築デザイン科長、美術科長
議 題	(1) 令和3年度 運営に関する計画(最終評価)について (2) 質疑応答	
協 議 要 旨	協議の結果	意見の概要
	(1) ○教頭から令和3年度 運営に関する計画(最終評価)について全体説明を行い、各部・各科から詳細について説明を行った。 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響から、これまで実施してきた行事が開催できなかったが、これを機に内容工夫し実施できた取組もあった。それらについても整理し説明を行った。 ※別紙、令和3年度 運営に関する計画(最終評価)参照	○工芸高校展については新型コロナウイルス感染症感染防止対策を十分に講じ来場者を限定する形にはなかったが、計画通り実施することができた。 ○今年度はコロナ禍で実施できる国際交流として「リモート・イタリアンツアー」を開催、広く一般市民にも公開した。 ○行政書士を講師に招くなど特別授業を行うことができた。 ○高大連携による出前授業や幼稚園との交流授業を実施した。 ○様々なコンペティション、コンクールに応募し、毎日・DAS学生デザイン賞等、全国規模のコンクールで上位の入賞を果たした。

	<p>(2) ○今年度の進路状況については、就職希望者は1名公務員を含み、1回目の受験での内定が70%で卒業までに希望者全員が内定をもらうことができた。</p> <p>進学希望者は、現在も受験中で結果待ちの生徒もいるが、国公立大への合格者が2けたを超える状態である。</p> <p>デザイン教育研究所受験で合格は33名となった。</p> <p>○指定校枠は科によって異なるが、立命館大や同志社女子大、大阪公立大などがあります。</p>	<p>○コロナ禍による授業回数減により、予定の特別授業（講師を招いて実施する）ができなかった。</p> <p>○実習室の構造上、作品発表のときに助言を1対1で行うことは適しているが、全体で1つの作品を見ながら意見を出し合うことが難しいこともある。上級生の作品制作進捗状況などを見ることで、下級生の意識を高めることができます。</p> <p>○〔委員より〕 コロナの関係で来校する機会が減ったので、来年度以降授業見学等の機会を増やしてほしい。</p> <p>工芸展を見学した後に大学の見学会に参加したが、改めて工芸生の専門技術のレベルの高さに気づきました。先生方の日々のご指導ありがとうございます。</p> <p>○今年度の進路状況はどのような状態でしょうか。</p> <p>○進路の推薦枠はどうなっていますか。</p>
協議資料	○ 令和3年度 運営に関する計画(最終評価)	
備考	傍聴者[1]名 阿倍野区役所 三上 恵理	